

# お知らせ

平成22年2月15日

資料提供先：鳥取県政記者クラブ  
倉吉記者クラブ  
米子市政記者クラブ

## 災害対策用機械等を用いた災害対策活動等に関する協定業者を募集します。

国土交通省倉吉河川国道事務所では、災害が発生、又は発生するおそれがある場合の被害拡大防止、早期復旧のためにご協力いただける業者を下記のとおり募集します。

- ・協定期間 平成22年4月1日～平成23年3月31日
- ・協定区間 倉吉河川国道事務所が管理する施設（河川、砂防、海岸、国道等）、中国地方の大規模災害発生区域及びその他の大規模災害発生区域（日本国内）
- ・募集協定 ①災害対策用機械を用いた災害対策活動等に関する協定  
対象機械 別紙 No.①～⑨を参照  
②衛星通信車を用いた災害対策活動等に関する協定  
対象機械 別紙 No.⑩を参照  
③埋設物探査装置を用いた災害対策活動等に関する協定  
対象機械 別紙 No.⑪を参照  
④遠隔操縦装置（バック用）を用いた災害対策活動等に関する協定  
対象機械 別紙 No.⑫・⑬を参照
- ・応募期間 平成22年2月17日～平成22年3月5日
- ・募集要項 倉吉河川国道事務所ホームページに掲載しております。詳しい内容はそちらをご覧ください。(http://www.cgr.mlit.go.jp/kurayoshi/)

### 【問い合わせ先】

国土交通省 中国地方整備局 倉吉河川国道事務所

副所長（河川） おおいけ かつのり  
大池 勝則

副所長（道路） よしおか はるひこ  
吉岡 晴彦

道路管理課長 やまね けいたろう  
山根 圭太郎

電話 0858-26-6221（代表）



①  
 名称：対策本部車  
 規格：車体拡幅型  
 目的：  
 大規模な災害が発生した際に、被災現場近隣に出動し、現地対策本部や通信拠点とした復旧支援を行う。  
 拡幅した場合約10畳の室内が確保できる。拡幅作業は2人でいき、30分程度で完了する。  
 装備は各種通信装置のほかエアコン・トイレ・シャワー等を有している。



②  
 名称：待機支援車  
 規格：バス型 8人乗  
 目的：  
 災害対策が長期に渡る場合に派遣作業員の休憩・仮眠施設として使用する。  
 仮眠を行うためのベットが8人分あり、現場・災害対策本部及び支部間の情報通信を円滑に行うため、衛星携帯電話・(FAX)・パソコン等が装備されている。また、簡易な調理器具も装備している。



③  
 名称：橋梁点検車  
 規格：歩廊式  
 目的：  
 橋梁点検車は橋梁の健全度の点検及び橋梁補修に使用する。



④  
 名称：照明車  
 規格：1kW×8灯 35kVA  
 目的：  
 災害が発生した際に、速やかに現地に急行し、復旧作業の夜間照明をはじめ、危険箇所の監視等に使用する。  
 また、電源供給用として他の機械への電源供給にも使用する。



⑤  
 名称：照明車  
 規格：2kW×6灯 20kVA



⑥  
 名称：照明車  
 規格：2kW×6灯 25kVA  
 屈折ブーム式



⑦ 名称 : 排水ポンプ車  
規格 : 150m<sup>3</sup>/min  
目的 :  
排水ポンプ車は、内水被害等が発生した場合、速やかに現場に急行し、排水作業を迅速かつ効率的に行えるよう、発動発電機・排水ポンプを1台の車両に架装している。



⑩ 名称 : 衛星通信車  
規格 : 中型 4×4  
目的 :  
通信衛星を介して、国土交通省専用の地上多重無線回線を経由することにより、災害現場から各工事事務所へ画像伝送、FAX、電話連絡等の通信を行う。



⑧ 名称 : 排水ポンプ車  
規格 : 30m<sup>3</sup>/min



⑪ 名称 : 埋設物探査装置  
規格 : -  
目的 :  
土砂災害現場で復旧作業の前作業として、埋設された金属品（ガスボンベ・車両等）の探査を行う。



⑨ 名称 : 排水ポンプ車  
規格 : 30m<sup>3</sup>/min  
超軽量水中ポンプ

⑫



名称 : 遠隔操縦装置  
規格 : バックホウ用  
目的 :  
崖崩れなどの土砂災害現場で2次災害の危険がある場合、バックホウに遠隔操縦装置を取付、安全に復旧作業を行う。  
リモコンで150m遠隔からの操作が可能である。

⑬

